

Japanese Laid Open Patent application (JP-A-Showa 51-020334)

This conventional example relates to a bag of an air bag apparatus. The bag is formed by sewing a circumference of two rectangle clothes. Then, the four corners of the bag is sewed to form four lugs. Thus, the bag is formed to have a cubic shape. At least one f the four lugs is pushed into the bag and a tip portion of the lug is cut to form an opening.

BEST AVAILABLE COPY



(2000円)

特 許 願 (3)

昭和49年8月9日

特許庁長官殿

1. 発明の名称

エアバッグ装置のバッグ

2. 発明者

東京都杉並区西荻南1-4-13

岡

島

(ほか1名)

3. 特許出願人

横浜市神奈川区宝町2番地

(399) 日産自動車株式会社

代表取締役 岩越忠起

4. 代理人

東京都千代田区丸の内二丁目6番2号401号A室(電話216-2588)

(2722) 弁護士 清瀬三郎

49-091244



(ほか1名)

① 日本国特許庁

公開特許公報

① 特開昭 51-20334

④ 公開日 昭51.(1976) 2:18

② 特願昭 49-91244

② 出願日 昭49.(1974) 8.9

審査請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号

6774 36

⑤ 日本分類

80 K0

⑥ Int. Cl²

B60R 21/12

明 細 書

1. 発明の名称

エアバッグ装置のバッグ

2. 特許請求の範囲

二重の布地からなる四辺形無開口袋地の四隅に耳を立て各耳の基部を縫着してバッグ本体を立方形状に成形したバッグにおいて、少なくとも一つの耳の基部縫着部をバッグ本体側に突出せるとともに該耳を切り開いて開口させたことを特徴とするエアバッグ装置のバッグ。

3. 発明の詳細な説明

本発明は自動車の乗員保護用エアバッグ装置のバッグ、殊に無開口袋地を用いて立方形状に成形され、かつ排気機構をそなえたバッグに関する。

エアバッグは自動車の衝突時にガス発生器か

らのガスが急速に導入され膨張して乗員を拘束したのち乗員への二次衝撃を緩和するため通常導入されたガスを排気して内圧を減少させるようになっている。

一方本願出願人はさきに無開口袋地を用いて立方形状のバッグ本体を成形する方法を提案し出願した。この方法を簡単に説明すると、

第1図において1は表裏二重の布地からなる無開口の四辺形袋地の隅部附近の表裏をつまみ、表裏布地を矢印方向に引き離して突縁のように耳2を成形し、耳2の基部3を縫着する。そしてこの手順を四隅に對し適用することにより第2図に示すように立方形状のバッグ本体4を成形する。尚5は前記ガス発生器を挿入するための開口、6はガス発生器およびバッグ取付用のボルト孔である。

本発明はかかる手順により作られるバッグに

特開 昭51-20334 (2)

において耳2の基部3を縫着するにあたりその縫着線の形態を工夫することにより、こゝに排気手段を構成するようにしたものである。すなわち本発明では少なくとも一つの耳2aの基部を縫着するに際しその縫着線7の一部7aをバッグ本体4側に喰込させるようにする。この喰込部7aの形状は三角状、梯形状、半月状（何れも無底辺）等任意に選定できる。そして耳2aの一部または全部を切り開いて開口8させる。

本発明は以上の如く喰込部7aを形成してバッグ本体を縫い縮めてあるからバッグ本体におけるこの部の周長が他の部の周長より短くなり、よつてバッグ膨脹時にはこの部の張力が大きくなるのでバッグが乗員を拘束した直後にその内圧が更に上昇すると喰込部7aの縫糸が切断されてガスはこの切断部より開

口8を経て排出され、前記二次衝撃を緩和する。

喰込部7aの破断強度はこの部の周長の選定すなわち喰込深さの選定により更に縫糸の強度または縫いピッチの選定等により所望に設定し得、実施例では喰込部7aを一重に、他の部分を二重に縫着（7、7b）して喰込部7aが破断され易いようにしてある。また排気量は喰込部7aの巾あるいは開口8の面積により適宜に設定しうる。

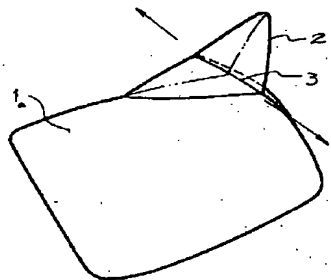
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明バッグの基本構成説明図、第2図は本発明実施例の斜視図である。

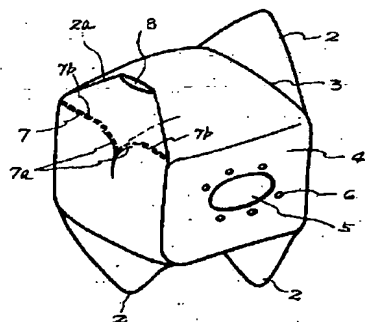
1…袋地、2…耳、3…基部縫着線、4…バッグ本体、7…縫着線、7a…縫着喰込部、8…開口。

以 上

オ 1 図



オ 2 図



5. 添附書類の目録

(1) 明 細 書	1 通
(2) 図 面	1 通
(3) 委 任 状	1 通
(4) 願 書 副 本	1 通

6. 前記以外の発明者 および代理人

(1) 発 明 者

コウナンクカミオオカサワウ
横浜市港南区上大岡町 670

スズ キ シュウ イチ
鈴 木 秀 一

(2) 代 理 人

東京都千代田区丸の内二丁目6番2号401号A室

(3297) 弁護士 足 立 卓 夫

